

# おぐろ



2014

3

● 広報

NO. 713



我が家の  
ひ  
お陽さま  
シリーズ ⑩

～おにはそと！ふくはうち！～

2月3日に白百合保育園（舟山まさ園長）で行われた節分の豆まき。人形劇の途中で鬼たちが現れると、園児たちは準備していた豆を力いっぱい投げつけました。泣き出したり、先生に抱きつく園児もいましたが、最後はみんなで勇気を出して鬼たちを退治しました。



# 域 いきがく 学 × 連 れんけい 携



～地域と大学とのつながりが  
生み出す新たな地域づくりの形～

これまで地域づくりは、その地域の住民と行政が主体となって、知恵を出し合い力を合わせて進められてきました。しかし、近年は、外部の大学や研究機関などが地域に一定の期間滞在し、地域住民や行政と連携して地域の活性化や地域課題の解決を目指す取り組みが展開されています。本町では、今後こうした外部人材と協働してまちづくりの方策を講じていくことが、ますます重要になると考えています。そこで今回は、現在本町が進めている地域活力の向上に向けた大学との連携事業を紹介します。

増加する大学との連携と交流

近年、都市部の大学生や大学教員などが、過疎化が進む農山村地域に合宿形式等で入り、その地域の生活や伝統文化を体験したり地域住民と連携したりして、地域おこしに関する活動や地域の活性化に関する提言を行ったりするなどの取り組みが展開されています。こうした活動は、大学と地域住民やNPO法人等、そして自治体などの行政とが連携して取り組んでいる事例が多く見受けられます。

過疎化や人口減少が進行する本町においても、活力ある地域づくりを進めていくために、町内外における多様な交流の機会を設けながら、このような外部の人材との協働のまちづくりを推進していくことが地域課題解決の一つの方策ととらえています。

これまでの町の取り組み

これまでも町では、外部の大学生が参加するさまざまな



2月1日と8月の2回実施されたインターンシップ



2人は2週間にわたって実習では2人の学生が2週間にわたって実習

事業を展開してきました。東北芸術工科大学のフィールドワークや新潟大学のダブルホーム事業、県内の大学、専門学校などの教育機関と山形県の連合組織である「大学コンソーシアムやまがた」の活動受け入れなど、各活動の舞台を提供してきました。また、平成23年度からは、インターンシップ事業を開始しています。学生の地方行政への参画を目的に、本町の地域文化や大自然に触れながら多くの町民と交流し、その季節ならではの生活や行事といった文化を体験しています。

法政大学現代福祉学部コミュニティスタディ実習は、平成20年度から実施しており、学生が実践を通じた地域づくりの調査研究を目的に、農業や福祉体験などの活動を通じて地域づくりの実態を学びました。

そして、今年度、新たに域学連携地域活力モデル実証事業（以下、域学連携事業）の取り組みを始めました。

### 新たな地域づくりの形

「域学連携事業」とは、地域の「域」と大学の「学」を合わせた言葉です。これは、

総務省が進める事業で、今年度は本町を含め、全国の16の自治体で取り組みが行われています。大学生と専門知識を有する大学教員などが、主に農山村地域に入り、地域住民とともにその地域の課題解決や地域づくりに取り組み、地域の活性化や地域と大学双方の人材育成を目的に活動が展開されています。本町では、早稲田大学、兵庫県立大学な

どと連携し、昨年の9月と11月、そして今年の2月の3回にわたってフィールドワークを行いました。

9月の事業は、地域の現状や資源の把握作業を重点的に行いました。その調査結果をもとに、地域資源の活用方法について検討しました。そこで、閉校して使われていない校舎を林間学校や団体の宿泊施設に活用する、体験専用の農場を整備して若者を呼び込む、豪雪を売りに「埋まるぞ小国」をキャッチコピーにして町をPRするといった取り組みが提案されました。

11月の取り組みでは、調査研究にあたる4つのグループに分かれてテーマを設定し、フィールドワークを行いました。そこでは、木質チップやもみ殻などの再生可能エネルギーを生産している施設や萱野峠、黒沢峠等を視察しました。そして、関係者からそれぞれの現状などの聞き取り調査を行った結果をまとめ、こうした地域資源を活用して若者を対象としたイベントなど

を企画提案しました。

また、小国の食文化をテーマにしたグループは、本町で昔から作られてきた郷土食「からこ」を取り上げ、一口サイズや甘さを控えた試作品づくりや、本町産の雑穀菓子などを詰め合わせたギフトセットの首都圏への販売戦略を考えました。ここで提案された「からこ」やギフトセット、きのこなどの特産品は、11月22日、23日両日に東京都内で開催された物販イベントで、試験的に販売しました。

イベントには早稲田大学の学生等も参加し、「からこ」に関する試食アンケート調査を実施しましたが、「独特な新食感。」や「他では食べられない味。」といった意見が出されました。

今回の「からこ」の試作品づくりを指導いただき、物販イベントにも参加した小関清子さん（増岡）は、今回の取り組みについて次のように話してくれました。

「小国で昔から作られてきた『からこ』が、学生や東京



小関 清子さん

のかたの口に合うか不安でしたが、おいしいと言ってくれたかたが多くほつとしています。生の粉を使うので抵抗があるかたもいますが、学生たちが『からこ』を焼いたり、形や味を工夫したりするなど、いろいろなアイディアを出してくれました。食の伝統を守り、こうした郷土食を伝え広めていくことに併せ、若者の斬新なアイディアを活かしながら、今あるものに新しい価値を加えていくことも必要だと感じました。」

今年の2月には3回目となる合宿が行われ、雪や食文化などの大切な地域資源を活かして、本町での豊かな暮らしを実現するためのビジネスプランを提案する「うまるぞおぐに杯『全国スノーライフビ

ジネスコンテスト』を実施しました。

学生からは、小国の食を活用した販売戦略や除雪作業、雪掘り作業をイベント化し、閉校校舎に宿泊するツアーの企画、雪室冷房や閉校校舎を活用したIT企業の誘致など、個性的な企画が提案されました。

このコンテストで審査員を務めた山形県置賜総合支庁の奥山隆一地域振興監は、学生たちの提案について次のように講評されました。

「地域住民と学生、行政が一体となって地域づくりに参加できるこの事業は、大変素晴らしい取り組みだと思います。」



コンテストでは本町の特性を活かした提案を披露



置賜総合支庁地域振興監 奥山隆一氏

す。若者ならではの画期的な提案が多く、県としても大変参考になりました。こうした活動を通じて多くの学生に小国町のファンになってもらうことで、今後の人生のさまざまな場面の選択肢の中に小国町が入ってくると思います。この事業で、地域住民と学生に相乗効果が生まれることを期待しています。」

### 見えてきた

#### 地域資源と地域の課題

こうしたさまざまな活動は、地域と大学双方にとって非常に良い効果があると考えられます。

まず、地域側の利点として、地域で不足している若い人材力を活用でき、大学が保

有する知識や情報、ノウハウを活かしながら、地域の活性化に関する取り組みを行うことができます。また、都市部で暮らす若者からのアイデア溢れる提案は、その土地で暮らす人々にとっては当たり前と見られるものを資源として認識する大変良い機会となり、地域の魅力を再認識できます。そして、具体的な提案を活用した地域づくりへとつながることが期待されます。

大学側にとっては、都市部に生活する学生が、日ごろ経験することのない農山村の暮らしや雪との関わりを直接体験できる機会の創出と、さまざまな人とのふれあいによる人材育成の効果が期待されます。また、実践的な学習を通じてカリキュラムの魅力を高めることができるほか、一連の取り組みを大学の研究活動にも活かすことができます。

その一方で、地域と大学の意識のバランスを保たなければ、一方的な活動になってしまふことが考えられます。加えて、学生が卒業したり参加



柳澤直樹さん

学生が変わってしまったりすることから、企画された提案をどのように展開していくのかが大きな課題となります。今年度行われた域学連携事業では、2人の学生が全3回の合宿に参加しました。早稲田大学5年の柳澤直樹さんは、「もともと山形県内に就農し、農業を通じて地域活性化に携わっていきたいと考えていました。小国町には、こだわりを持って農業をされているかたが多い印象を受けましたし、そういったかたに直接お話しを伺いながら交流を深められたことは、非常に良い経験となりました。私たちが地域で活動したことで、それが少しでも町の活性化のきっかけになってもええたらうれしいです。今後は、小国



丹羽健二さん

町のように住民と行政が協働で行うまちづくりを実践していきたいです。」と話してくれました。同じく早稲田大学5年の丹羽健二さんは、「この合宿で、大学の講義だけでは学ぶことができない地域の現状を学ぶことができました。参加した学生は、この取り組みを単発的なものにしないうために、大学の講義や生活の中で、友人や先輩などに小国町での取り組みを伝え広めたり、インターネットを活用したりするなど、情報発信活動に積極的に取り組んでいます。さまざま視点を持った人々が意見を出し合うことで、新たな発見や良い提案が生まれると思います。」と話してくれました。



早稲田大学環境総合研究センター  
上級研究員 岡田久典氏

また、この域学連携事業の総合的な企画、監修を務める早稲田大学環境総合研究センター上級研究員の岡田久典氏は、こうした取り組みについて次のように話されました。「現在の学生は、社会の競争激化などにより時間に追われ、自然や人とのふれあいが希薄化してきています。この事業を通じて、日本の地域の実情を肌で感じ地域住民と交流するという経験が、学生たちを大きく成長させます。全国的に地域から若者が減り、活力低下が叫ばれている中、彼らのすばらしい考えや情報発信力は、地域活性化に非常に良い効果をもたらします。事業だけでなく、この枠を超えて学生自らが小国町とのつながりを持ち続け、第2の町

### 新たな価値の創造へ

民となってもええたらうれしいです。今後も小国町のさらなる活性化に携わっていきたいと考えています。」

こうした地域と大学生による多様な活動を通じて、新たな人と人とのつながりや地域づくり、まちづくりの場が生まれました。本町の自然や歴史ある生活文化の豊かさは、町外からも広く認識されたことで、今後もさらなる活発な取り組みが期待されます。

人口減少、少子高齢化が進んでいる中、地域住民とこうした外部人材とが交流、連携、協働による地域づくりを進めることで、多様な人々が関わるまちづくりの実現につながります。

町では、今後も地域と大学、農山村と都市とが連携した活動を展開していくための工夫や持続可能な仕組みづくりに取り組みながら、本町の豊かな地域資源の新たな価値の創造を図っていきます。



## 西置賜行政組合消防本部 消防救急デジタル無線運用を開始

西置賜行政組合消防本部では、2月3日から、消防救急デジタル無線システムを導入し、運用を開始しました。新たに宇津峠に基地局を設置し、無線の通信エリアの拡大や通話品質等が向上しました。

また、消防本部内に整備された高機能消防指令センターの運用開始に合わせ、消防小国分署に発信位置検索システム、消防車両に車両動態管理システム（AVM）が設置されました。これは、消防本部から消防小国分署への出動に関する指示内容や、出動先の位置情報などが大型液晶画面に瞬時に表示されるもので、出動のさらなる迅速化や消防車両の現在位置の把握などが可能となります。

さらに、1月24日には、同分署に効率的な消化活動ができる圧縮空気泡消火装置や電動油圧救助器具などの最新救助資機材を搭載した消防ポンプ車も配備されるなど、防災体制の強化が図られました。



灯油流出事故を起こした場合または発見した場合は、役場、消防署、警察署等へご連絡ください。

## 雪害防止に 努めよう

### ▽雪害対策連絡会議を設置

本町では、1月上旬から断続的に降雪があったことなどから、1月21日に、「小国町雪害対策連絡会議」を設置しました。今後も情報収集、発信に努めながら、雪害対策に万全を期していきます。

町内では、今年度2件の雪害が発生しており、今後も雪崩等の発生が予想されます。屋根の雪下ろし作業などの際は、安全対策を

怠らないよう十分注意しましょう。

### ▽灯油流出事故にご注意を

除雪や積雪による灯油タンク等の配管破損に伴う油流出事故を防ぐため、次のことを心掛けましょう。

- ☑ ホームタンクなどから灯油を小分けにする際はその場を離れない！目を離さない！
- ☑ 配管破損を防ぐため雪囲いなどの設置を！
- ☑ 配管場所に目印を！
- ☑ 配管、ホームタンクの定期点検を怠らない！

## 新小国小学校の 町民内覧会を開催します

平成26年4月に開校する新小国小学校の町民内覧会を開催します。小国の未来を担う子どもたちの新たな学び舎を、この機会にぜひご覧ください。

### ■期 日

4月5日(土)、6日(日)の2日間

### ■開始時間

①9時 ②10時30分

③13時30分 ④15時

※1回あたりの見学時間は45分～1時間程度です。

### ■申 込 先

教育委員会へ事前に申込みが必要です。詳細は、下記へお問い合わせください。

### ■申込・問合せ先

教育委員会教育環境整備担当  
(☎62-2141)へ

## 後期高齢者医療保険料率の 保険料率が変わります

後期高齢者医療制度の保険料率は、医療費などの推計を基に、2年ごとに見直しをおこなっています。

平成26、27年度の保険料率は、平成24、25年度と比べると医療費等の増加が見込まれるため、次のとおり改定されることとなりました。

### ■保険料率の改定内容

	平成24・25年度	平成26・27年度
所得割率※1	7.52%	7.84%
均等割額※2	3万9,500円	3万9,500円
賦課限度額※3	55万円	57万円

※1 所得割率：所得に応じて負担していただく分を算定する際の率

※2 均等割額：加入者が公平に負担していただく分

※3 賦課限度額：年間保険料の最高額

◇均等割保険料の軽減対象が拡充されます。

保険料率の詳細は、7月に保険料額決定通知書とともに送付されるリーフレットに記載されますのでご確認ください。

■問合せ先 町民税務課国保医療担当へ

2月にロシアで開催されたソチ冬季オリンピックのスキーボード男子ハーフパイプで、日本オリンピック史上最年少、15歳75日の平野歩夢(あゆむ)選手が、同大会で日本初のメダルとなる銀メダルを獲得しました。

平野選手は、4歳から小国の横根スキー場で練習を積み重ね、技を磨いてきました。競技当日は、私たちも、白い森ショッピングセンターアスモの3階に「パブリックビューイング」を設け、予選から決勝まで、町民の皆さん約60人で応援しました。世界の一流選手を相手に、その高さや技の難度は他の選手を圧倒し、15歳とは思えぬ堂々とした戦いぶりでの見事な銀メダル。まさに平成26年2月11日は、オリンピックの歴史と小国町の歴史が変わる日となりました。

～町長室便り～  
雨ニモマケズ⑩

## 歴史が変わる日

盛田 信明



大会直前に役場を訪れオリンピックでの活躍を誓う平野選手

弱冠15歳で世界の大選手となった平野君、小国町にとっても誇りであります。これからも横根スキー場をホームゲレンデに、ワールドカップ、そして次のオリンピックでは金メダルを目指して頑張ってください。

彼の快挙を称えるとともに、積み重ねた努力の総量に敬意を表し、心から祝福したいと思えます。おめでとう！平野選手。

平野選手の華麗な滑りに沸くパブリックビューイング会場



平成25年度 小国町文化講演会

## 向井亜紀氏

### 「夢が生きる力になる」

小国町文化講演会が、2月11日、総合センターで開催され、タレントの向井亜紀さんが「夢が生きる力になる」と題して講演を行いました。

講演会では、向井さんが子宮頸がんになった時のさまざまな心の葛藤のお話のほか、治療の際の担当医や病気で苦しんでいる患者のエピソードなどを交えながら、自身の心の持ちかたを紹介しました。

向井さんは、「心はすごい



力を持つており、身体はその力に引きつけられます。日々を健康で元気に過ごしていくために、どんな時も心の中に幸せな夢のイメージを持つて生活することが大切です。」と話しました。

来場者は、時折涙を流しながら、向井さんの話に聞き入っていました。



## 飯豊梅花皮荘が館内禁煙となりました



国民宿舎飯豊梅花皮荘では、受動喫煙防止の観点から、指定喫煙室以外での館内禁煙となっています。

1階玄関くつ置き場奥と3階洗面所奥に、新たに喫煙室を設置しましたので、館内で喫煙の際は、喫煙室をご利用いただきますようお願いいたします。

## 「スノーツーリズム in Oguni」モニターツアー

首都圏の大学に在籍する東南アジアからの留学生を対象とした「スノーツーリズム in Oguni」モニターツアーが、2月20日から21日にかけて、五味沢地区で実施されました。これは、本町における冬季間の外国人観光客に提供するプログラムの構築を目指して町が主催したもので、14人の留学生が参加しました。

白い森交流センターりふれ周辺では、さいず焼きやスノーモービル、もちつきなどを体験し、小国の冬ならではのイベントを満喫しました。



平成25年度 みどり環境交付金事業

「白い森の国おぐに」森林理解、体験活動の取り組みについて

今年度、小国町では、山形県みどり環境税を活用して「おきたま森の感謝祭2013」を開催したほか、次代を担う子どもたちを対象に、森林・農林業への理解と意識の醸成を図ることを目的とした事例発表会等を展開してきました。その取り組みの様をお知らせします。

～森から拓く次代の生業づくり事業～

【事例発表会】

小国、叶水中学校を会場に、小国町に暮らして自然素材のお菓子作りや、豊かな森の資源を活用した企画づくり、きのこ生産などの分野で活躍されているＩターン・Ｕターン者のかたにご講演いただきました。



～白い森づくり体験事業～

【おきたま森の感謝祭2013】

置賜地域の3つの緑の少年団員と小国町の小学生、一般参加者の約350人が参加しました。式典では表彰式と植樹が行われ、森づくり活動として歩道のチップ敷きが行われました。また、会場イベントでは、ネイチャーゲームや木工体験、葉っぱスタンプ、つる細工といった体験コーナーのほか、高性能林業機械やチェーンソーアートの実演などを行いました。



～環境対策事業～

森林資源を利用した生ごみのたい肥化を行い、環境に優しく自然の活力を活かした作物の生産につなげる仕組みづくりに取り組んでいます。



【間伐教室】

町内小学生の親子を対象に、間伐作業体験と広葉樹の葉を用いたハンカチ作りを行いました。間伐作業の必要性を学び、枝払や玉切りなどの作業体験や天然林の観察を通して、森に関心を持ち、理解を深めることを目的に開催しました。



～環境教育推進事業～

町内の児童生徒と保護者を対象とし、自然に関する学習会や観察会などを行いました。



～ほかにもさまざまな事業を展開しています～

【林業機械操作技術研修】

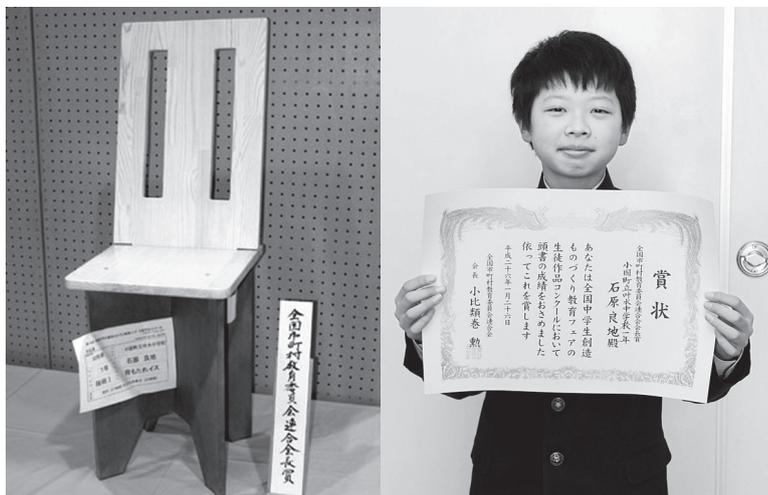
町民を対象に、刈払機やチェーンソーに関する安全衛生教育研修を行いました。

【きのこ研修会】

さまざまなきのこの特徴等の解説を行ったほか、一般参加者が持参したきのこの判別などを行いました。

## アイデア満載の力作

～石原良地(りょうち)くんが全国市町村教育委員会連合会長賞を受賞～



叶水中学校(大河原敦校長)1年の石原良地くんが、第14回全国中学生創造ものづくり教育フェアの生徒作品コンクールの技術分野1部門において、全国市町村教育委員会連合会長賞を受賞しました。受賞した作品は「背もたれイス」で、くぎをなるべく使わず強度を保ちながら取り外しが可能な背板を備えるなど、工夫を凝らしたものです。

石原くんは「工作などは得意ですが、全国的な表彰を受けるとは思っていませんでした。今後もいろいろなものを作りたいです。」と話してくれました。

## 雪上で大熱戦

～小国町ウインタースポーツ大会～



平成25年度小国町ウインタースポーツ大会が、2月16日、横根スキー場を会場に開催され、多くの町民が参加しました。

この大会は、町内の地区体育協会(全11地区)の対抗戦で進められ、スキーやスノーボードによる大回転、ジャンプ競技のほか、レクリエーション種目としてかんじきリレーや新種目のまり入れ競争などが行われました。

強い風雪の中での開催となりましたが、真剣に競技に臨む姿に各陣地からは大きな歓声が上がっていました。熱戦の結果、沖庭地区が優勝しました。

## これからの農業を考える

～おぐに農政フォーラム～

おぐに農政フォーラム実行委員会(川崎吉巳実行委員長)が主催したおぐに農政フォーラムが、2月12日、白い森ショッピングセンターアスモを会場に開催されました。フォーラムでは、新たな農業政策や今後の日本の農業について、舟山康江元参議院議員や盛田町長、東北農政局山形地域センターの職員による講演が行われました。また、町内の農家8人によるパネルディスカッションが行われ、高齢化する農業従事者の現状や行政に対する意見などが述べられました。

参加者は、これからの小国の農業を考えながら真剣に聞き入っていました。



## 世界中の苦しむ子どもを助きたい ～小国小学校ボトルキャップ寄託～



発展途上国の子どもたちにポリオ（小児まひ）ワクチンを贈ろうと、2月21日、小国小学校（長沼誠校長）が、ペットボトルキャップ約4万4,000個を山形銀行小国支店（佐藤譲支店長）に寄託しました。環境ボランティア委員会が中心となって、各家庭から集めたものです。

児童を代表して6年生の齋藤萌（もえ）さんは「世界の苦しんでいる子どもたちが、私たちと同じく元気に過ごせるようになってほしいです。」と話してくれました。

## つなぐボールと響く歓声 ～白い森杯バレーボール交流大会～

第7回白い森杯バレーボール交流大会が、1月18、19日（小学生大会）、25日、26日（中学生大会）に町民総合体育館などで開催されました。

小国町バレーボール連盟などで組織する実行委員会（佐藤孝志実行委員長）が主催したこの大会には、置賜地域や新潟県下越地域から、小学生大会には11チーム、中学生大会には13チームが参加しました。

参加した児童生徒たちは、チームメイトや保護者からの声援を受けながら、一生懸命ボールを追いかけました。



## シリーズ 協力隊通信 ⑩

### 「走ってきた道と 次の一歩へ」

緑のふるさと協力隊  
濱田 裕太



長沢地区でしめ縄づくりを体験

昨年4月に小国町に来て、早11カ月。私は、前を行くランナーの背中を追いかけて走るので精一杯でした。そのランナーとは、小国の四季であり、小国で生きる人みんなでした。お世話になったすべてのかたに心から感謝申し上げます。

小国の中でも、自然の力を享受して生活する人と接しながら、経験と感覚の合わさった素晴らしい技術をたくさん教わりました。山菜、米、野菜、キノコの質と味の良さのおかげで、食べる喜びを毎日味わいました。また、除雪の大変さを受け入れる懐の深さを学びました。ただ、小国の人と土との関係がだんだん薄れていく危機感も感じました。

良いものを良いと判断する基準は、時代とともに変わっていくものだと思います。今の自分が良いと思っているものは、テレビやインターネットの情報が基準なのかもしれません。時代は変わっても、小国の土が変わることはありません。笑顔があふれ、おいしいものがあふれ、楽しい仲間があふれる「小国基準」の生活が、ずっと続いていくことを願っています。この1年間で学んだことを、これからの自分の生活の一部にして、小国町との関係を末永く持ち続けたいと思います。

# お知らせコーナー

## 募集

### 長井西置賜休日診療所の 看護師さんを募集します

長井西置賜休日診療所（長井市保健センター内）では、看護師さんを募集しています。1カ月あたりの平均勤務日数は概ね1〜2日です。

#### ■応募資格

看護師または准看護師資格者で調剤業務経験者

#### ■募集人員 1人

■勤務日 日曜日、祝日、12月31日〜1月3日までの年末年始期間のうち、4人での輪番制勤務

#### ■勤務時間 午前8時30分〜午後5時15分（休憩60分）

■日給 1万2,300円

#### ■通勤手当

2キロ以上の場合に支給

■その他 年末年始期間に勤務した場合は日給のほかに加算あり

#### ■問合せ先 長井市健康課

（☎84・6822）へ

#### 「支援活動員」の募集

やまがた被害者支援セン

ターでは、犯罪や事故等に遭われた被害者とその家族のかたがたの悩みの軽減やこころのケアを目的に、ボランティアの支援相談員による相談、及び裁判所や病院等への付添などの直接支援を行う支援活動員を募集します。

#### ■募集人員 電話相談、直接支援等 10人（25歳以上の心身ともに健康なかた）

①電話相談 月2回程度の電話相談（電話相談日は年末年始、祝日を除く月曜から金曜までの午前10時から午後4時）

#### ■業務内容

②直接支援 裁判所、病院等への付添など（医療、教育、福祉、司法分野での経験者歓迎）

#### ■募集期間 4月15日（火）

■その他 支援活動員候補者に選考されますと、支援活動員として必要な研修を受けていただきます。

#### ■応募・問合せ先 やまがた被害者支援センター（山形県保健福祉センター内）

023・642・3571へ

平成26年度くりえいと工房再生品の提供について

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、展示及び提供を行っています。置賜地区在住のかたであればどなたでもご応募できますので、ぜひくりえいと工房までお越しください。

#### ■提供品 自転車、家具類

■申込方法 申込みをしてい

ただき、後日抽選会をおこないます。

■料金 無料

■問合せ先 千代田クリーンセンター（☎57・4004）へ

危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちの皆さまへ  
危険物取扱者・消防設備士の義務として、免状交付の日から10年以内ごとに写真の書換えが必要です。

■問合せ先 消防試験研究センター山形県支部（☎023・631・0761）へ

## ～3月のあいべイベント～

### 第2回 MIXCUP & 白い森杯フットサル大会

■日 時 3月23日（日） 8：30～

■場 所 あいべ

■参加者

◎MIXCUP 年齢制限なし（女性2人以上）

◎白い森杯 中学生以上

■参加費 1チーム 2,500円

■申込締切 3月11日（火）

■問合せ先

◇おぐにスポーツクラブ Yui

（☎62-5808）へ

◇フットサル運営委員長 石原

（☎080-2811-1493）へ

## お知らせ

### 平成26年度くりえいと工房

#### 再生品の提供について

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、展示及び提供を行っています。置賜地区在住のかたであればどなたでもご応募できますので、ぜひくりえいと工房までお越しください。

#### ■提供品 自転車、家具類

■申込方法 申込みをしてい

ただき、後日抽選会をおこないます。

■料金 無料

■問合せ先 千代田クリーンセンター（☎57・4004）へ

# 子育て支援センターから

## ☆あそびの広場☆

■日時 3月4日、11日、18日、25日

18日、25日

いずれも午前10時~11時30分

## ■場所

健康管理センター

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

## ☆なかよし広場☆

## ■日時

3月6日、13日、20日

いずれも午前10時~11時30分

## ■場所

アスモ多目的ホール

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

お子さんとお家のかた

## ☆赤ちゃん広場☆

■日時 3月13日

午後1時~午後3時30分

■場所 おぐに保育園

■対象者 生後4カ月から18カ月のお子さんとお家のかた

## ☆ゆきんこ広場☆

■日時 3月3日、10日、17日、24日

いずれも午前10時~11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

## 3月の保健カレンダー

### 1. 各健診の日程等

#### ■4カ月児健診

- ・期 日 3月14日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成25年11月生まれ

#### ■1歳児健診

- ・期 日 3月14日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成25年3月生まれ

#### ■1歳6カ月児健診

- ・期 日 3月7日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 平成24年7月、8月、9月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センターへ

## 求 人 情 報

右の表は2月21日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合がありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

## 今月の納税 2014.3

3月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 3月26日(水) 水道料
- 3月31日(月) 国民健康保険税、後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先  
町民税務課税政管理室へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
(有) 蔵 王 ス ト ア ー	レジ係(販売員)	1人	8:45~18:00
		2人	8:30~18:00の間の8時間程度
安 部 工 業 (株)	運転手	2人	8:00~17:00
	現場監督員	2人	
社会福祉法人小国福祉会	介護員	1人	6:30~15:30ほか
大 和 建 設 運 輸 (株)	重機運転手	2人	8:00~17:00
	大型トラック運転手	2人	
	土木施工管理技士	2人	
小 国 町 森 林 組 合	運転業務(トラック運転)	1人	7:30~17:00
カ イ ン ド ネ ス (有) おぐに調剤薬局	医療事務	2人	8:30~17:30ほか
	薬剤師	2人	9:00~18:30
(株) ブ ロ ー ド ワ ン	ポスティングスタッフ/川西町・小国町・白鷹町	1人	9:00~18:00の間の3時間以上
	各種PRスタッフ/川西町・小国町・白鷹町	1人	9:00~18:00の間の2時間以上

※今月は、2月以降に登録された求人掲載しています。

## ワラビポット苗栽培技術研修会

- 日 時 3月20日(木) 13:30~15:30  
 ■場 所 おぐに開発総合センター 集会室  
 ■内 容  
 低コストでより省力的なワラビ栽培が可能となるワラビポット苗を使用した栽培手法等について  
 【講師】 山形県森林研究研修センター  
 主任専門研究員 中村 人史 氏  
 ■参加費 無料  
 ■定 員 50人  
 ※申込期限前でも定員に達し次第締め切ります。  
 ■申込期限 3月18日(火)  
 申込用紙は、役場・総合センターにございます。  
 ■その他 研修時にワラビポット苗づくり実習も行いますので、軍手を持参のうえ、作業着など汚れてもよい服装でご参加ください。  
 ■申込先 産業振興課農林振興室  
 電話 62-2408 FAX 62-5464  
 ※電話受付時間 平日8:30~17:15まで

## 置賜広域行政事務組合広域的婚活推進事業 「おきたま LOVE ワゴン」

今回は、「シュミカラコン」と題し、カラオケのジャンルごと同じ趣味を持つ人同士で歌って、気の合う仲間を見つけましょう。

- 日 時 3月21日(金・祝) 14:00~17:00  
 ■場 所 南陽市「カラパラ南陽店」南陽市宮内785-12  
 ■募 集 25~40歳までの男女各24人の計48人  
 ①アニソン枠 ②LDH枠 (EXILE、E-girls等) ③ゆず枠  
 ④ジャニーズ枠 ⑤FUNKEY MONKEY BABYS枠  
 ⑥ヴィジュアル系バンド枠など  
 ■参加費 【男性】2,500円【女性】1,500円  
 ■申込締切 3月13日(木)  
 ■その他 詳細は置賜広域行政事務組合ホームページをご覧ください。  
 ■問 合 先 置賜広域行政事務組合 (☎23-3246) へ

## 総合センター図書室から

- ~新着図書~ . . . 休館日 . . . 毎週月曜日・祝日
- |              |          |
|--------------|----------|
| ◇団塊の秋        | 堺 屋 太 一  |
| ◇恋しくて        | 村 上 春 樹  |
| ◇昼田とハッコウ     | 山崎ナオコ ーラ |
| ◇地球がこわれるシリーズ | 藤 原 幸 一  |
| ◇おじいさんのランプ   | 新 美 南 吉  |

## 相 談

### ▽年金相談

- 日 時 3月19日(水)  
 10:30~14:00  
 ■場 所 役場町民相談室  
 ■対応者 米沢年金事務所職員  
 ■申込み 事前に申込みが必要です。  
 ■申込・問合先  
 町民税務課住民窓口担当へ

### ▽人権相談

- 日 時 3月19日(水)  
 10:00~12:00  
 ■場 所 総合センター  
 ■対応者 町人権擁護委員  
 ■問合先 町民税務課住民窓口担当へ

### ▽消費者相談会

訪問販売や多重債務の相談もお受けします

- 日 時 3月22日(土)  
 10:00~15:00  
 ■場 所 役場雇用相談室  
 ■対応者 司法書士 舟山健蔵氏  
 ■問合先 町民税務課町民生活担当へ

## 農と食のドキュメンタリー 上映会2014

- 日 時 3月22日(土)  
 午前の部 10:00~  
 午後の部 14:00~  
 ※各回同じ内容  
 ■場 所 置賜生涯学習プラザ(長井市)  
 ■内 容  
 1) 「食の選択」、「誰のためのTPP? 自由貿易のワナ」の上映  
 2) 16:00~ 講演&意見交換会  
 演題「TPPを通して考える、今後の食と農業」  
 講師 舟山 康江 氏  
 ■入 場 料 前売り 1,000円  
 当日 1,200円  
 学生、18歳以下無料

### ■チケット取扱い

小国ガスエネルギー(株)、SaHanB  
 i(茶飯美)

### ■問合先

食と農のドキュメンタリー上映実行委員会  
 (メールアドレス: [ribon.okitama@gmail.com](mailto:ribon.okitama@gmail.com)) へ



●小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464

●行政管理室 ☎62-2112

●国保医療担当 ☎62-2261

●農林振興室 ☎62-2408

●建設技術室 ☎62-2432

●政策企画室・地域振興室 ☎62-2264

●税政管理室 ☎62-2403

●商工観光室 ☎62-2416

●議会事務局 ☎62-2448

●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260

●会計室 ☎62-2406

●建設管理室・水道管理室 ☎62-2431

## \*\*\* 雪の中の大冒険 \*\*\*

巨大迷路体験や宝探し、スノーフラッグ、すべり台など、楽しいイベント盛りだくさんです。イワナ焼き販売も行います。皆さん、ぜひお越しください。

■日時 3月9日(日)

10:00~ オープン

10:30~ 宝探し(1回目)

11:30~ スノーフラッグ(1回目)

13:00~ 宝探し(2回目)

13:30~ スノーフラッグ(2回目)

■会場 旧小玉川小中学校グラウンド

■入場料 無料

■問合せ先 小玉川雪祭り実行委員会

(☎090-3644-7881 舟山)へ

## 子育て支援医療証の更新について

小国町では、中学生以下のお子さんの医療費無料化を実施していますが、平成26年3月現在、小学生から中学2年生までのお子さんと、平成26年度に小学校に入学するお子さんについては、平成26年4月からは新しい子育て支援医療証が必要になります。

該当するお子さんの保護者の皆さんには、別途お知らせをお送りいたしますので、手続きくださるようお願いいたします。

■問合せ先

町民税務課国保医療担当へ

## 入札結果情報 (平成26年1月21日~2月20日実施)

単位(円)

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H26.1.30	平成25年度北地区排水路整備工事	北	H26.3.25	9,427,000	大和建设運輸(株)	8,950,000
H26.1.30	平成25年度小河川整備事業麻枯沢川分水路整備工事	岩井沢	H26.3.25	10,286,000	遠藤建設(株)	10,000,000
H26.1.30	平成25年度都市再生整備事業町道幸町1号線他9路線道路詳細設計業務委託	幸町	H26.3.20	8,528,000	(有)小国測量設計事務所	8,200,000
H26.2.13	平成25年度岩井沢勤労者住宅ガス給湯器交換修繕	岩井沢	H26.3.28	2,299,000	山一住設(株)	2,180,000
H26.2.13	平成25年度都市再生整備事業小国中央地区都市再生整備計画方法書作成業務委託	中央地区	H26.3.25	563,000	国際航業(株) 山形営業所	530,000
H26.2.13	平成25年度町道小国停車場大日堂線道路附帯施設整備事業駐輪場購入	小国町除雪センター	H26.3.28	1,160,000	新和産業(株)	1,160,000
H26.2.13	平成25年度町道湯の花笹生屋敷線側溝整備工事	増岡	H26.3.25	3,910,000	大和建设運輸(株)	3,500,000
H26.2.13	平成24年度繰越排雪運搬路整備工事	兵庫館	H26.3.25	6,559,000	(株)船山工務店	6,300,000
H26.2.13	平成25年度町道松岡大石線横断函渠流末整備工事	伊佐領	H26.3.25	9,967,000	安部工業(株)	9,700,000
H26.2.13	全国瞬時警報システム自動起動装置整備工事	小国小坂町	H26.3.25	7,217,000	山形パナソニック(株)	6,430,000
H26.2.20	平成25年度血球計数装置購入	あけぼの	H26.3.31	4,740,000	(株)南部医理科 山形営業所	4,530,000
H26.2.20	平成25年度血液ガス分析装置購入	あけぼの	H26.3.31	2,200,000	(株)南部医理科 山形営業所	1,980,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

# 戸籍のまど

## 誕生おめでとうございます。

あけぼの 川 上 真 来 ( 朋 人  
このみ )  
玉 川 三 須 美 涼 ( 隼 人  
真 代 )  
大石 沢 川 崎 権 ( 翔 紀  
真 )

## 結婚おめでとうございます。

( 北 川 上 亮  
沼 沢 加 藤 洋 子 )

## おくやみ申し上げます。

黒 沢 伊 藤 ミツエ (95)  
幸 町 齋 藤 友時朗 (48)  
沼 沢 後 藤 奥 山 (79)  
百 子 沢 小 嶋 英 夫 (80)  
太 鼓 沢 安 部 互 (83)  
小国小坂町 伊 藤 ヨ シ (79)  
小国小坂町 今 宏 行 (83)  
東 原 渡 部 ふ つ (93)  
緑 町 舟 山 要 (86)  
岩 井 沢 嶋 村 幸 二 (45)  
百 子 沢 川 村 テ ツ (92)  
小 玉 川 渡 邊 孝 子 (94)

## 人口のうごき

人口 男・・・4,134人(－7)  
女・・・4,376人(－8)  
計・・・8,510人(－15)  
世帯数 3,183世帯(－4)  
平成26年1月31日現在

## ～訂正とおわび～

先月号の戸籍のまど「おくやみ申し上げます」欄において、鈴木てるさんの大字名に誤りがありました。

(誤) 大宮 → (正) 岩井沢

訂正し、おわびいたします。

## ～ふるさとへの想い～

### シリーズ⑩ 『故郷の絆を大切に』

わたなべ よしひろ  
渡邊 義寛 さん



神奈川県横浜市在住

岩井沢 出身

町出身者で交流を深めています  
(写真右から3番目)

私は、小国町で生まれ育ち、社会人として40年余りを畜産(飼料)業界で勤めあげ、現在は横浜市に住んでおります。

目を閉じて50年前を振り返ると、団塊の世代ということもあり、小国中学校は1クラス50人で6学級の900人と、今でいうマンモス校でした。今ほど物資に恵まれてはいませんでした。心の豊かさが充分あった気がします。

約30年前に、小国出身の関東在住者で38同期会を立ち上げ、毎年10月、当時のクラス毎に幹事を勤め、各地で交流を深めています。また、当時の5、6組連合はK会と名付け、毎年5月に1泊2日で温泉地巡りをしています。それくらい、故郷を絆に通い合う心の原点は、全て小国町が中心となっています。

小国中学校の校歌「瑞の群山とりよろう雲うつくしきたたずまい空気と水の澄むところこはうましの小国郷」の歌詞が忘れられません。歌詞のとおり風景が今も残る小国町に感動します。また、厳しい自然環境にありながら、町を守り続けていることに感謝し、敬意を表したいです。

今、一番懸念していることは、小国町の人口が減少していることです。国の力、町の力の源は人口ですので、町外に住む私たちも何か協力できることはないかと考えているところです。

最後に小国町の発展を念じつつ、エールを送りたいと思います。

## 編集後記

2月14日から15日にかけて、関東地方では記録的な豪雪に見舞われ、交通機能はまひし、集落の孤立化、車の立ち往生などが相次ぎました。特に山梨県内では、観測史上1位の積雪を記録するなど、降雪による大きな影響を受けました。本町の積雪は、昨年と比べれば少ない状況にあります。しかし、多いところでは約3メートルもの積雪となつています。そんな中でも、日常生活に支障なく過ごせるのは、日夜除雪作業に励む作業員のかたがたのおかげです。連日、本当にお疲れ様です。(伊藤)